

## 腎臓移植外科外来

生体腎移植を希望される患者さん・ご家族の診察・相談など、1回の診療に時間を要する場合があります。そのため、外来は完全予約制としております。

新患紹介の際には、地域医療室（札幌市医師会会員の医療機関の場合：TEL011-707-7705、FAX011-707-7706）または地域連携センター（TEL011-726-7831、FAX011-726-7832）までご連絡いただきますようお願いいたします。

患者さんが、生きる上で大きな希望が  
持てる腎移植の実現をめざします。

腎臓移植外科  
医師  
平野 哲夫



市立札幌病院腎移植科の開設から24年余、腎移植手術416例（血縁生体359・献腎52・脳死下5）を実施しています。

腎移植手術は提供者（ドナー）と拒絶反応防止の免疫抑制剤の長期服用が不可欠ですが、27万5千人超の透析患者に対し、腎移植は根治的治療法で体調や生活の改善は著しく、週3回一生涯の透析からの解放が腎移植の目的です。腎移植の医療費も更生医療などの適用で個人負担は少なく総医療費の点からも腎移植は透析療法に比し低額となります。

腎臓移植手術は、右下腹部・後腹膜に第3の腎臓を移植する全身麻酔下5時間、翌日から歩行も可能な手術です。生体提供は血縁者に限られますが、献腎・脳死下提供では予定が全くたたず、長期待機者を優先する現在の腎臓配分ルールでは10数年待ちの残念な現状があります。

最近の組織適合性検査法の精度向上・免疫抑制剤の進歩・患者ケアの向上などから、移植後の移植腎生着率・患者生存率は大幅に向上してきています。生きる上で大きな希望が持てる腎移植の実現に我々も今後も努力してゆきますので、長い経験を持つ当科外来の佐藤コーディネーター・鳥潟看護師に気軽に御相談ください。

患者さん・ご家族の移植の意思決定を  
支援していきます。

院内コーディネーター  
看護師  
佐藤 真澄



今年、4月から専任の移植コーディネーターとして配属され、主に腎臓移植外科外来で活動しています。移植コーディネーターは移植施設にはなくてはならない存在ですが、医師や看護師がその役割を担っていることが多く、移植コーディネーターを設置している施設が少ないのが現状です。

腎臓移植外科における移植コーディネーターの主な活動内容は、生体腎移植において、患者さん（レシピエント）と、腎臓提供者（ドナー）に安心して移植に臨むことができるよう十分な情報を提供したり、相談に応じたり意思決定できるように支援しています。また、移植を受けた患者さんが退院したあとも、日常生活の相談に応じ、健康管理のお手伝いをしています。

移植医療は以前よりは一般の方にも知られるようになりましたが、実際には「移植って何?」、「自分には受けられないのでは」、「費用が莫大なのは」など、さまざまな相談があります。

こちらをご紹介していただければ、移植に関する情報提供や相談などに対応させていただきます。